

タンバクンダ州及びケドゥグ州保健施設整備計画

建設前写真

【施設-1】



サラヤ保健センター・併設住居
内科診療棟に併設した職員住居。複数の世帯が協同生活を行っている。



サラヤ保健センター・入院棟
病床数6床の小規模病棟のみ。主に上位医療機関へのリファーマ待ちの患者用として使用される。



サラヤ保健センター・計画予定敷地
予定地は既存施設より2km程度の距離で、幹線道路より50m程後退した位置に確保されている。敷地は全般に平坦である。現在敷地に生えている樹木等は道路工事会社の協力により伐採予定である。



マカ・コリバンタン保健センター・産科待合い
半屋外の待合いスペース。日除け屋根、通風用穴あきブロック等により、居住性の向上を図っている。



サラヤ保健センター・受水タンク
施設内で使用する水は近傍の深井戸から供給されるが、断水時にリザーブタンクを設置している。



マカ・コリバンタン保健センター・計画予定敷地
予定地は既存施設より800m程度の距離で、幹線道路より200m程後退した位置に確保されている。敷地は全平坦で、樹木も疎らである。幹線道路からサイトへのアクセスも良好である。

タンバクンダ州及びケドゥグ州保健施設整備計画

【 施設-2 】



ジャンケ・マハ保健センター・産科棟
稼働中の既存施設は産科棟のみ。事務、診察、処置、分娩、産後回復室を備えている。



サラヤ保健センター・既存発電設備
電化地域ではないため、敷地内に小型の発電設備を併設し、照明等の電力を供給している。



ジャンケ・マハ保健センター・計画予定敷地
予定地は既存施設に隣接して確保されている。敷地北側（写真右側）で緩やかな下り勾配となるが、全般に平坦な敷地である。



州人材育成センター・教室内部
タンバクンダ州の気候から遮光カーテン、天井扇、エアコン、電灯等が設置されている。黒板は三面式を採用している。



州人材育成センター・既存建物
敷地内は既存建物が複数建っており、多教室棟の建設は二階建てとして、狭隘な土地の有効利用を行っている。



類似施設：ケドゥグ保健センター
ケドゥグ保健区（現ケドゥグ州）の既存保健センター。施設は分棟式の施設配置を採用しており、診療科目別に独立建屋となっている。通風、プライバシーを考慮する現地の標準的な配置方式である。

タンバクンダ州及びケドゥグ州保健施設整備計画

【 機材 】



サラヤ保健センター・インファントウォーマー：
新生児用の処置台にランプをつけて代用している。電力は発電機から供給している。



マカ・コリバンタン保健センター・分娩台：
足受けが揃っていないため、分娩時の患者の姿勢維持が困難となっている。



サラヤ保健センター・病床：
全体に老朽化が激しい。マットレスが不足しており、分娩台用のマットレスを代用している。



ジャンケ・マハ保健センター・産科治療器具：
産科用聴診器、血圧計、巻尺等、限られた器具のみであり、診療に支障を来している



マカ・コリバンタン保健センター・診察台：
老朽化による歪みが酷く、不安定な状態となっている。診察時の患者にかかる負担が大きい。



ジャンケ・マハ保健センター・診察灯：
電化地域ではないため診察灯がなく、診察・処置に懐中電灯を使用している。



州人材育成センター・人体模型：
既存施設において現有1台のみであり、学生数に対して数量が不足している。



州人材育成センター・骨格模型：
既存施設において現有1台のみであり、学生数に対して数量が不足している。